COMPACT
DISC
DIGITAL AUDIO

CELICA



取　扱　書

よくお読みになってご使用ください。
取扱書は車の中に保管しましょう。

このたびは CD(コンパクト・ディスク) プレーヤー・システムをお選びいただきありがとうございます。

万一取り扱いを誤ると
故障の原因になります。
ご使用前に本書を必ずお読みください。

- 本書は CD(コンパクト・ディスク)プレーヤー・システムの正しい取り扱い方法や手入れ法などについて説明していますので、ぜひご一読いただき本格的なデジタル・サウンドをお楽しみください。
- とくに、

および

は、しっかりとお読みください。
- 本書は必要なときにすぐ取り出せるよう、別冊の取扱書といっしょにグローブ・ボックスの中に保管してください。

※車をゆずられる場合、次のオーナーのために本書を車につけておいてください。

- CD(コンパクト・ディスク) プレーヤー・システム以外の説明については別冊の取扱書をご覧ください。

無断複製禁止

トヨタ CDプレーヤー
セリカ

シ－2

ページ

●アンテナ……1
●ラジオ……2
●カセット・ステレオ……8
●CDプレーヤー……13
●カー・オーディオの上手な使い方……18
●CDプレーヤーの上手な使い方……20
●コンパクト・ディスクの上手な使い方……21

お問い合わせ、ご相談は
右記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社　お客様相談センター
●名古屋(本部) 052(952)3333
●札幌 011(852)3333　●大阪 06 (252)2255
●仙台 022(267)3333　●広島 082(231)5333
●東京 03 (817)7333　●福岡 092(938)3333
本部所在地　〒461 名古屋市東区泉1丁目23-22

トヨタ自動車株式会社

●車両の仕様等の変更により本書の内容が車両と一致しない場合がありますのでご了承ください。
●印刷　ＮＡ－昭和62年８月１日　●発行－昭和62年８月６日（非売品）

M20062
01999－20062

無断複製禁止

CDプレーヤー・システムの使い方

アンテナ……1
CDプレーヤー・システム……1
　ラジオ……2
　カセット・ステレオ……8
　CDプレーヤー……13
カー・オーディオの上手な使い方……18
CDプレーヤーの上手な使い方……20
コンパクト・ディスクの上手な使い方……21

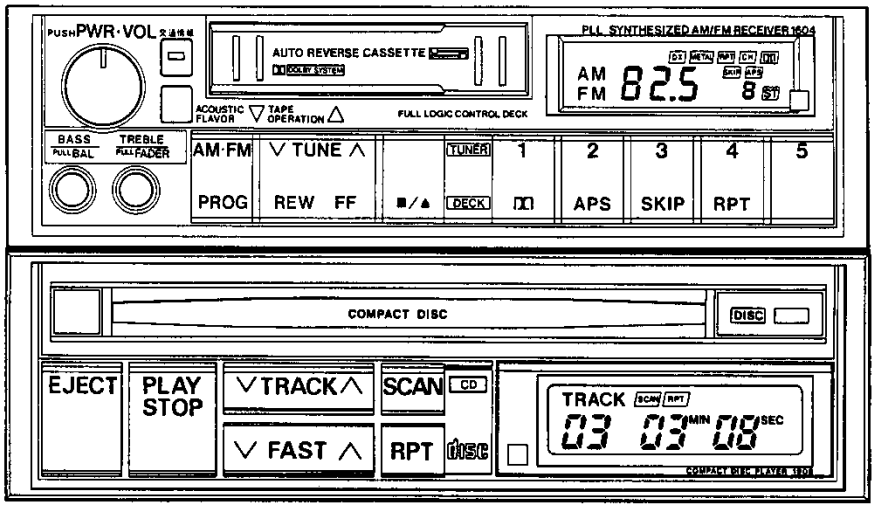
アンテナ

アンテナは、リヤ・ウインドゥ・ガラスに埋め込まれています。



アンテナ入りガラス(室内側)の清掃は、湿った布で熱線にそって軽くふいてください。ガラス・クリーナーなどは、アンテナをいためますので使用しないでください。

CDプレーヤー・システム



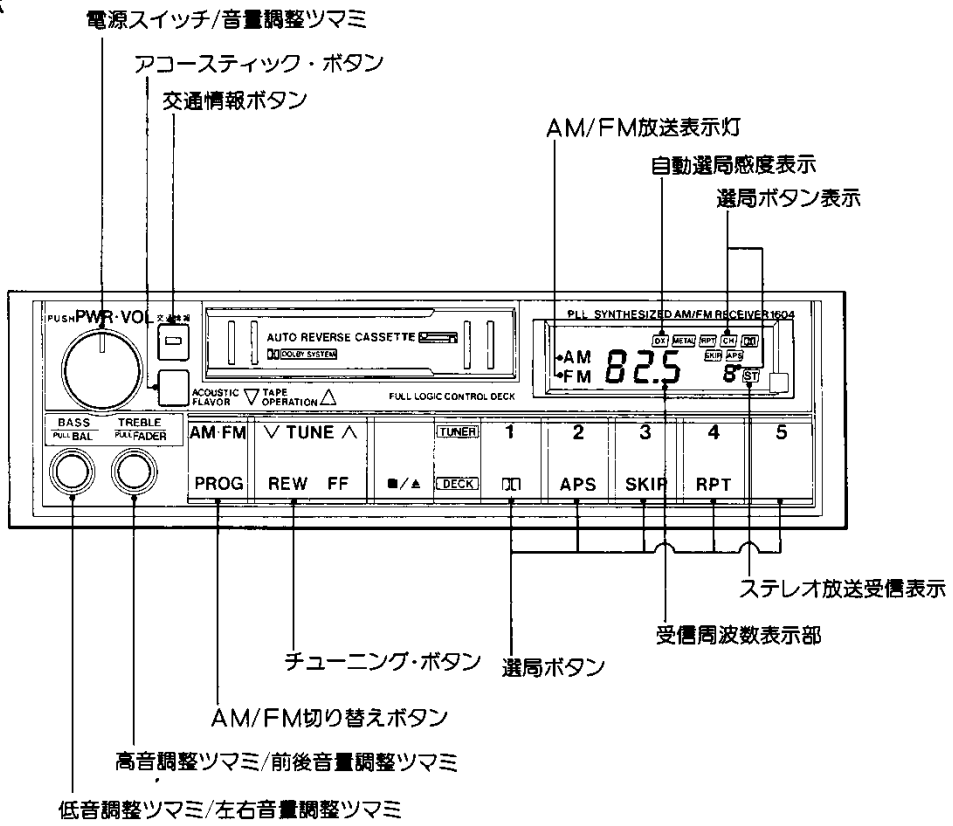


1. エンジン停止時は、ラジオ、カセット・ステレオ、CDプレーヤーを長時間つけたままにしないでください。バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。
2. 安全運転をさまたげないように、適度な音量でお聞きください。

無断複製禁止

ラジオ

▶各部の名称

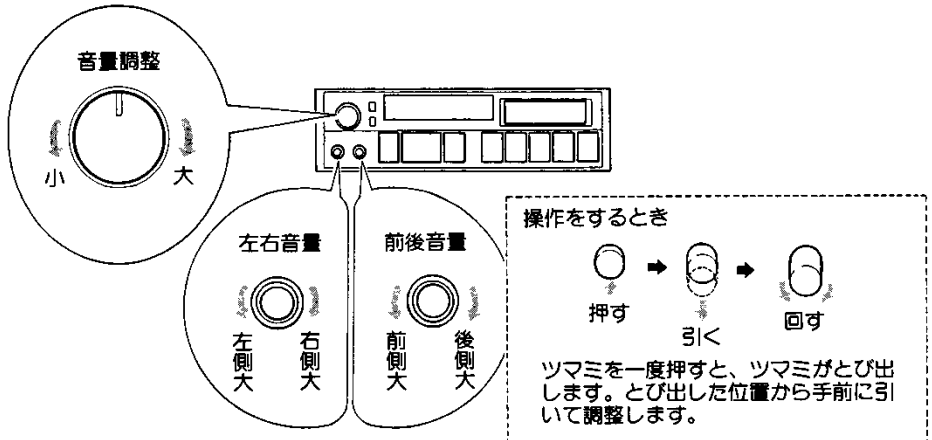


このシステムを十分活用していただくため下記手順でまとめてあります。

▶音量調整のしかた……2
▶音質調整のしかた……3
▶ラジオ放送を聞くには……4
▶選局のしかた……5
▶選局ボタンのセット……6
▶交通情報ボタンについて……7
▶交通情報ボタンのセット……7

音量調整のしかた

音量調整は次のツマミでお好みに応じて調整してください。

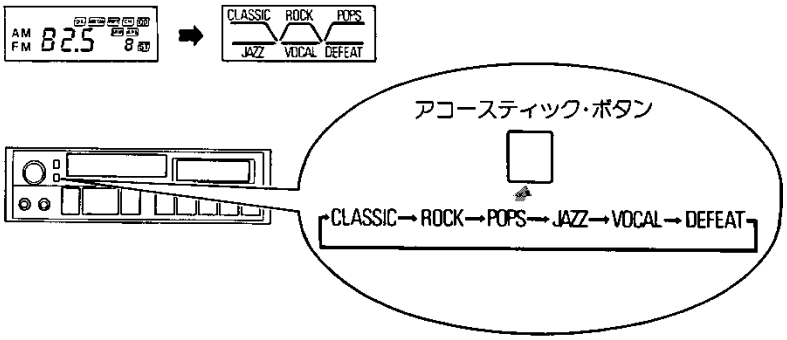


無断複製禁止

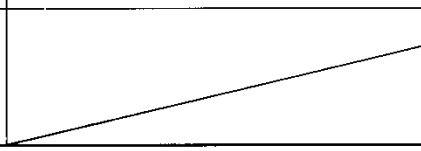
音質調整のしかた

▶サウンド・フレーバー

アコースティック・ボタンを押すと約5秒間アコースティック表示になり、
表示中にアコースティック・ボタンを押すと、お好みの音質が選べます。

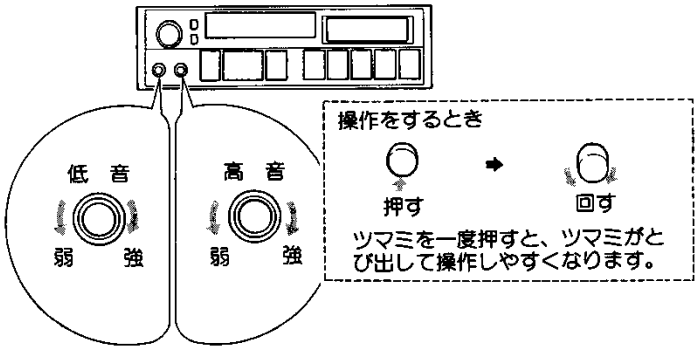


〈表示灯と働き〉

表　示	表　示　灯	働　き
CLASSIC		フラットな音になります。
ROCK		低音が強調されます。
POPS		高音が強調されます。
JAZZ		低音と高音が強調されます。
VOCAL		中音域が強調されます。
DEFEAT		低音、高音調整の手動調整ができます。（次の**〈手動調整〉**を参照してください。）

▶手動調整

DEFEAT 表示であれば、次のツマミでお好みに応じて低音、高音調整が行えます。



無断複製禁止

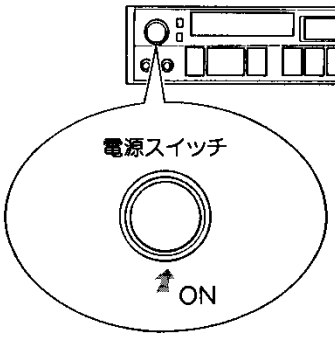
ラジオ

ラジオ放送を聞くには

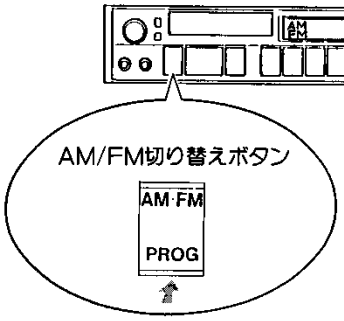
1 エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。



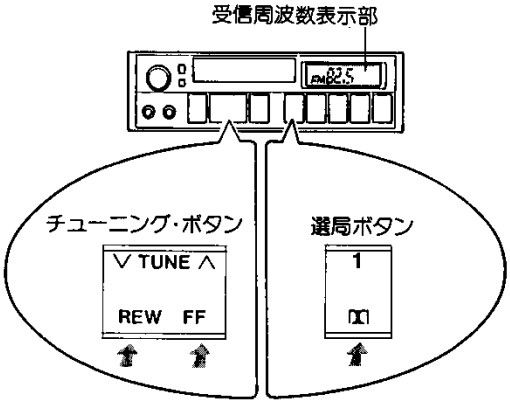
2 電源スイッチを押して電源をいれます。もう一度押すと電源は切れます。



3 AM／FM切り替えボタンを押して、AMまたはFM放送の選択をします。



4 チューニング・ボタンまたは選局ボタンを押して希望の局を選びます。(次ページの**〈選局のしかた〉**または6ページの**〈選局ボタンのセット〉**を参照してください。)



5 音量調整は2ページの**〈音量調整のしかた〉**を、音質調整は3ページの**〈音質調整のしかた〉**を参照してください。

無断複製禁止

選局のしかた

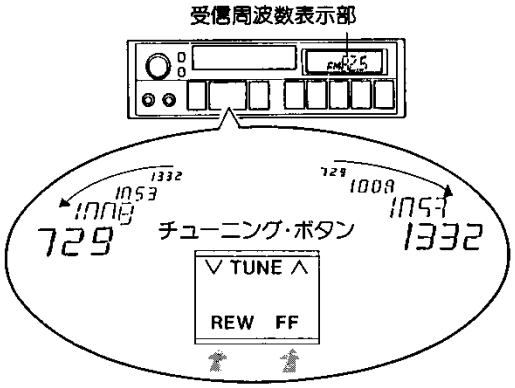
チューニング・ボタンを軽く押すと手動選局として、ピッという音がするまで押し続けると自動選局として使うことができます。

〈手動選局のしかた〉

1 チューニング・ボタンを軽く押して希望の周波数にあわせます。

1回押すごとに段階的に周波数がかわります。

- 周波数の高い方へ選局するときは∧側
- 周波数の低い方へ選局するときは∨側

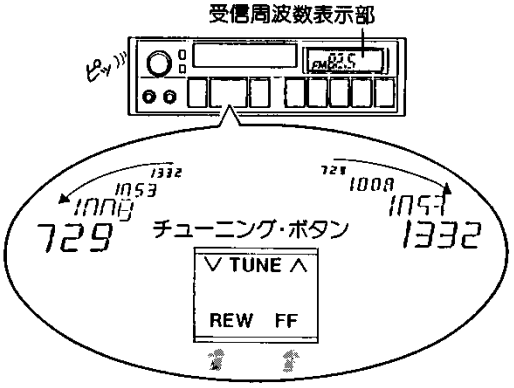


このとき受信周波数表示部に、そのときどきの周波数が表示されます。

〈自動選局のしかた〉

1 チューニング・ボタンをピッという音がするまで押し続け手を離します。放送を受信したら自動的に止まります。

- 周波数の高い方へ選局するときは∧側
- 周波数の低い方へ選局するときは∨側

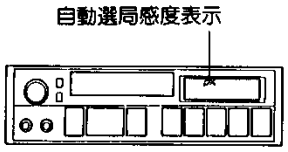


このとき受信周波数表示部に、そのときどきの周波数が表示されます。



自動選局を解除したいときは、チューニング・ボタンをもう一度押すと解除できます。

2 ビルの谷間などで受信電波が弱く選局しなかったときは、最初の周波数にもどったあと、自動選局感度表示が点灯し、選局しやすくなります。





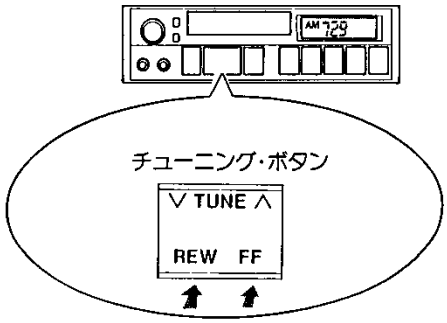
放送を受信したら約15秒後に自動選局感度表示は消灯します。

自動選局感度表示が点灯しても選局しないときはチューニング・ボタンを軽く押して希望の周波数にあわせてください。

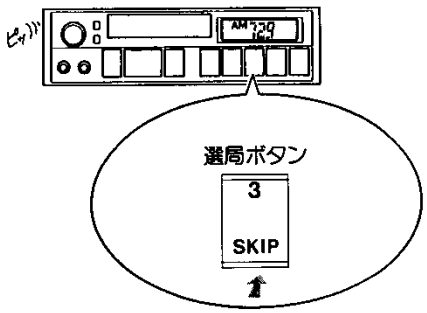
無断複製禁止

選局ボタンのセット

1 チューニング・ボタンで記憶させたい放送局の周波数にあわせます。



2 選局ボタンのうちいずれか1つをピッという音がするまで押すとそのボタンに放送局が記憶されます。





選局ボタン1つにつきＡＭ1局、ＦＭ1局の2局を記憶させることができます。

3 あらかじめ目的地の放送局の周波数がわかっている場合は、選局ボタンに希望の周波数をセットしておくことができます。



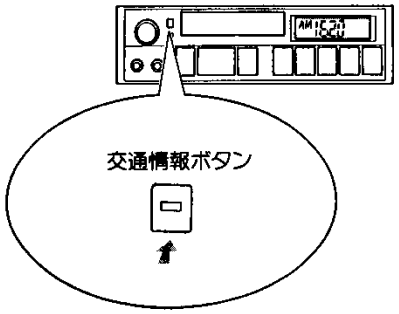
車両の整備、ラジオの取りはずしなどによって、バッテリーとの接続が断たれた場合、選局ボタンの記憶は消去されます。もう一度選局ボタンに記憶しなおしてください。

無断複製禁止

交通情報ボタンについて

交通情報放送を行っている地域で交通情報受信専用のボタンとして使用できます。

1 交通情報ボタンを押すと交通情報局が受信できます。



2 もう一度押すと解除されます。

〔参考〕

道路名	地域	周波数	
国道17号	三国峠	上り線	522KHz
		下り線	1611KHz
東名高速	多摩川区間 港北区間	1620KHz	
阪神高速	森の宮～高井田間 長田出口	1620KHz	

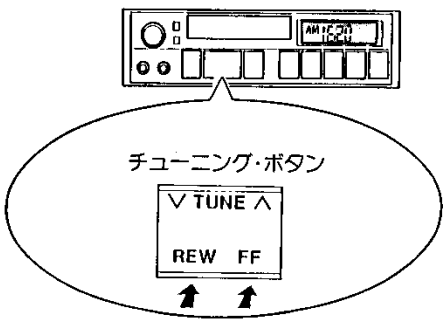
※新車時は1620KHzにセットしてあります。



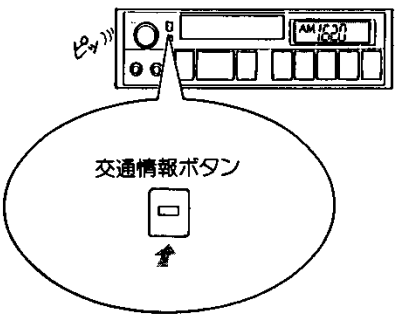
1. 交通情報ボタンはＡＭ専用の選局ボタンとしても使用できます。
2. 放送受信中の場合、チューニング・ボタン、選局ボタン、AM/FM切り替えボタンを押しても作動しません。
3. テープを聞いているときに、交通情報ボタンを押すと、テープは自動的に手前に押し出されます。
4. コンパクト・ディスクを聞いているときに、交通情報ボタンを押すと演奏が停止します。

交通情報ボタンのセット

1 チューニング・ボタンで記憶させたい交通情報局を受信します。



2 交通情報ボタンをピッという音がするまで押し続けると記憶されます。



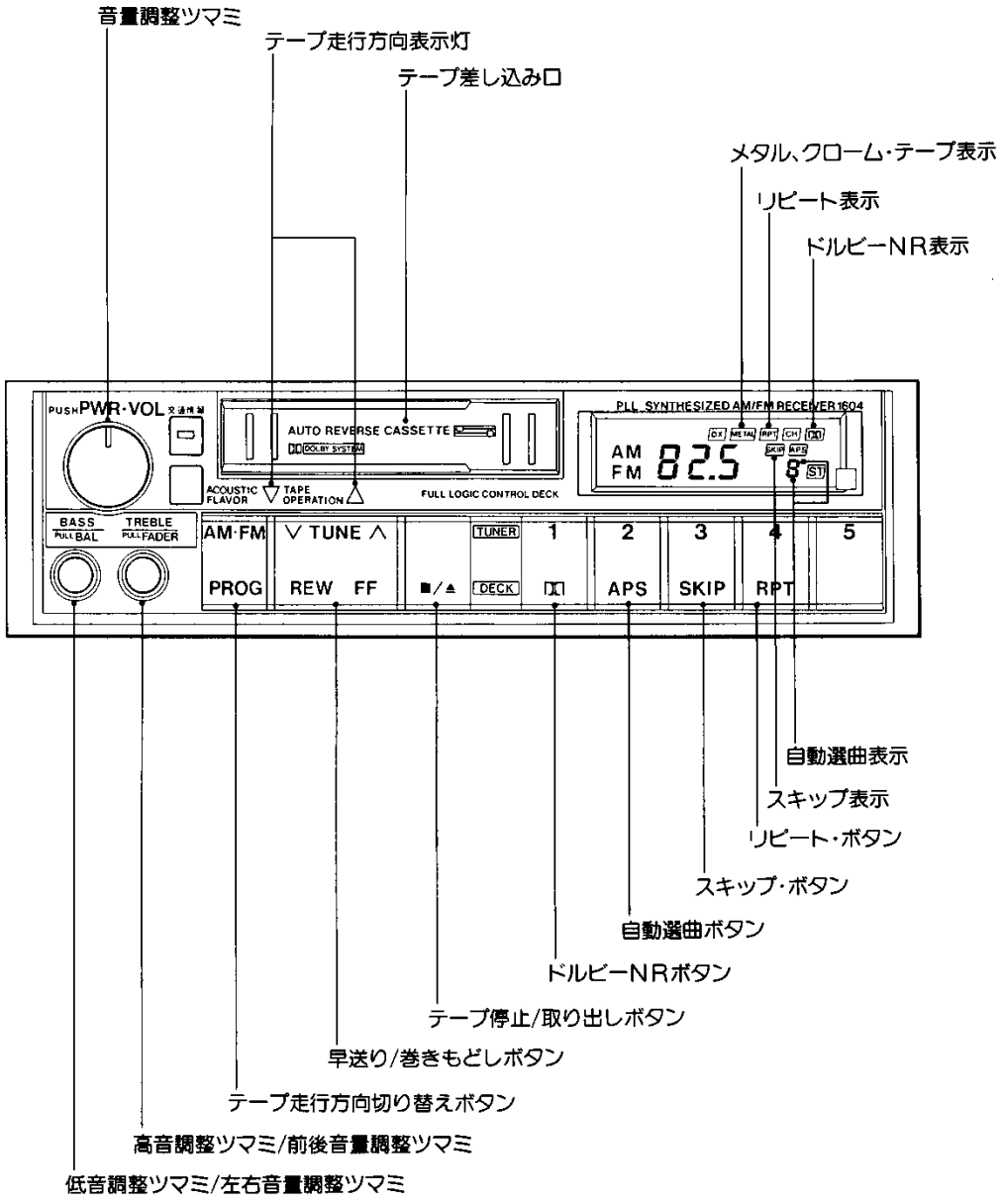


1. ＦＭ放送電波を記憶させることはできません。
2. 車両の整備、ラジオの取りはずしなどによって、バッテリーとの接続が断たれた場合、周波数は1620KHzにセットされます。

無断複製禁止

カセット・ステレオ

▶各部の名称



このシステムを十分活用していただくため下記手順でまとめてあります。

▶テープを聞くには…… 9
▶早送り、巻きもどしをするには……10
▶テープを取り出すには……10
▶自動選曲のしかた(頭出し)……11
▶同じ曲を繰り返して聞きたいときは……12
▶無音部分をとばして聞きたいときは……12

無断複製禁止

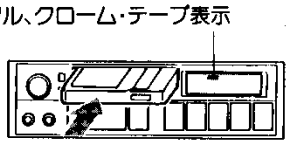
テープを聞くには

1 エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。



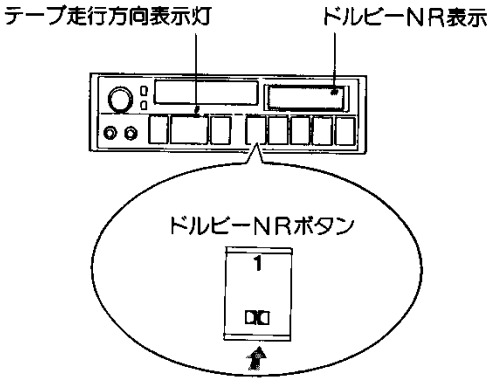
ラジオの電源スイッチのON、OFFに関係なく使用できます。

2 テープ差し込み口にテープを差し込みます。



クローム・テープおよびメタル・テープを差し込むと表示灯が点灯します。

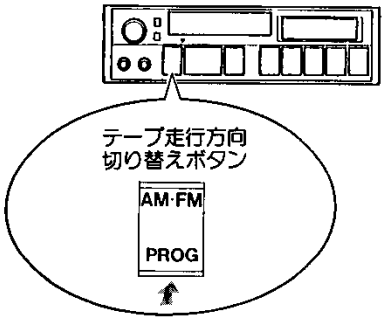
3 ドルビー(B)※NRで録音されたテープを使用するときは、ドルビーNRボタンを押します。



※ドルビー・ノイズ・リダクションはドルビー・ラボラトリーズ・ライセンシング・コーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY及びD記号□□は、ドルビー・ラボラトリーズ・ライセンシング・コーポレーションの登録商標です。

4 音量調整は2ページの**〈音量調整のしかた〉**を音質調整は3ページの**〈音質調整のしかた〉**を参照してください。

5 再生途中でテープの走行方向をかえたいときは、テープ走行方向切り替えボタンを押します。



テープ片面の演奏が終わると自動的に反対側の演奏に切り替わります。(オート・リバース機構)

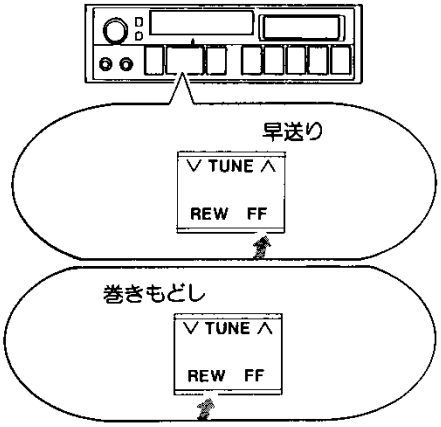


テープを聞いているときに、交通情報ボタンを押すと、テープは自動的に手前に押し出されます。

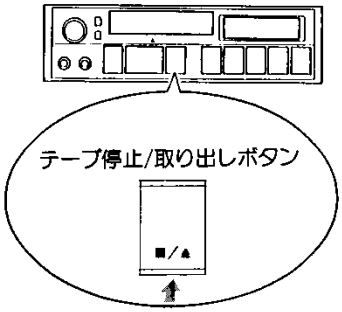
無断複製禁止

早送り、巻きもどしをするには

1 早送りがしたいときは早送り／巻きもどしボタンのＦＦ側を、巻きもどしがしたいときはＲＥＷ側を押します。

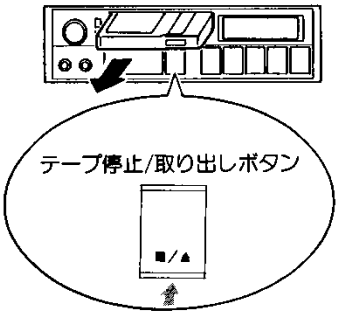


2 早送り、巻きもどしを解除して通常の再生をするときは、テープ停止／取り出しボタンを押します。



テープを取り出すには

テープ停止／取り出しボタンを押すとテープが自動的に手前に押し出されます。





カセット・テープをいれたままエンジン・スイッチをOFFにしても１回だけ取り出し操作が行えます。



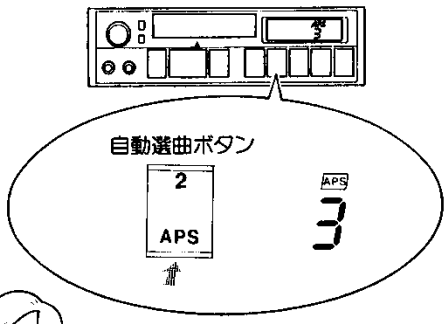
本機とカセットを保護するため、テープ停止／取り出しボタンを押してもカセット・テープが手前に押し出されないときは、異常検出機構が働きデッキの機能が停止します。この状態になったらトヨタ販売店へご連絡ください。

無断複製禁止

自動選曲のしかた(頭出し)

いまお聞きになっている曲の前後、9曲の中から希望曲の頭出しができます。

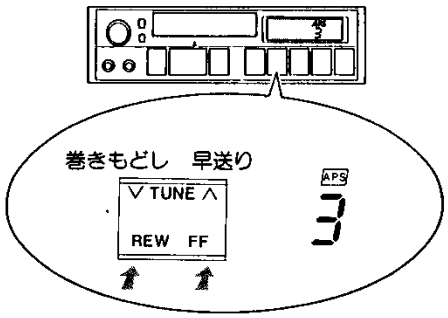
1 頭出しをしたい曲の曲数だけ（3曲目の場合は3回）自動選曲ボタンを押します。





自動選曲ボタンのセットはテープ再生中に行ってください。

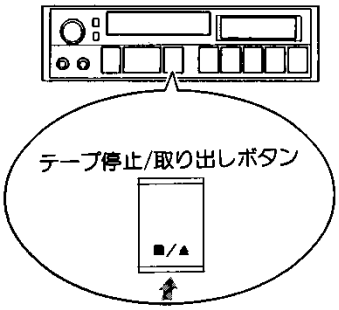
2 希望曲まで早送りするときは早送りボタン／巻きもどしボタンのＦＦ側を、巻きもどしをするときはＲＥＷ側を押すと希望した曲の頭でテープは止まり、演奏が始まります。





1. 巻きもどしの場合は、いまお聞きになっている曲も曲数に含まれますので注意してください。
2. テープの残りの曲数以上の頭出しをしたときは下記のようになります。
   - ●早送りのときはテープ反対側の１曲目から演奏されます。
   - ●巻きもどしのときは同じ側の１曲目から演奏されます。
3. 曲と曲の間の無音部分が３秒以下のときや、曲と曲の間に雑音のある場合、または極めて小さい音が３秒以上あるテープでは正常に作動しないことがあります。

3 自動選曲を解除したいときは、テープ停止／取り出しボタンを押します。

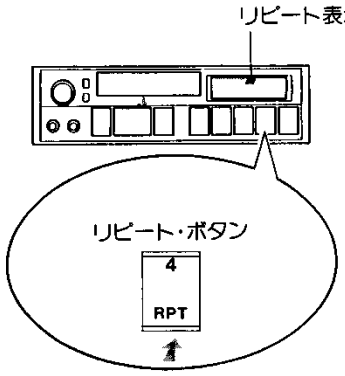


無断複製禁止

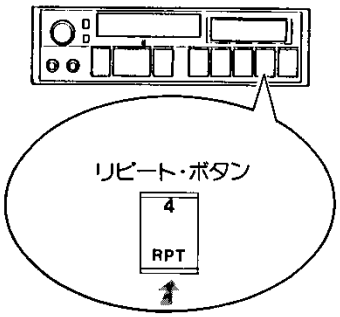
同じ曲を繰り返して聞きたいときは

リピート・ボタンを押すと同じ曲を何度も繰り返して聞くことができます。

1 お気にいりの曲が演奏されているときにリピート・ボタンを押すと、その曲の演奏終了後自動的に巻きもどされて、曲の初めから再び演奏を始めます。



2 リピート作動を解除したいときは、もう一度リピート・ボタンを押します。



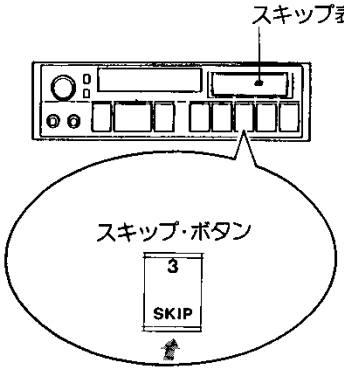


曲と曲の間の無音部分が3秒以下のときや、曲と曲の間に雑音がある場合、または極めて小さい音が3秒以上あるテープでは正常に作動しないことがあります。

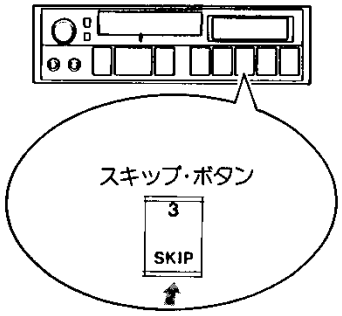
無音部分をとばして聞きたいときは

スキップ・ボタンを押すと無音部分をとばして聞くことができます。

1 スキップ・ボタンを押してあれば無音部分が約12秒以上の場合、自動的に早送りして曲の頭出しを行うことができます。



2 スキップ作動を解除したいときは、もう一度スキップ・ボタンを押します。



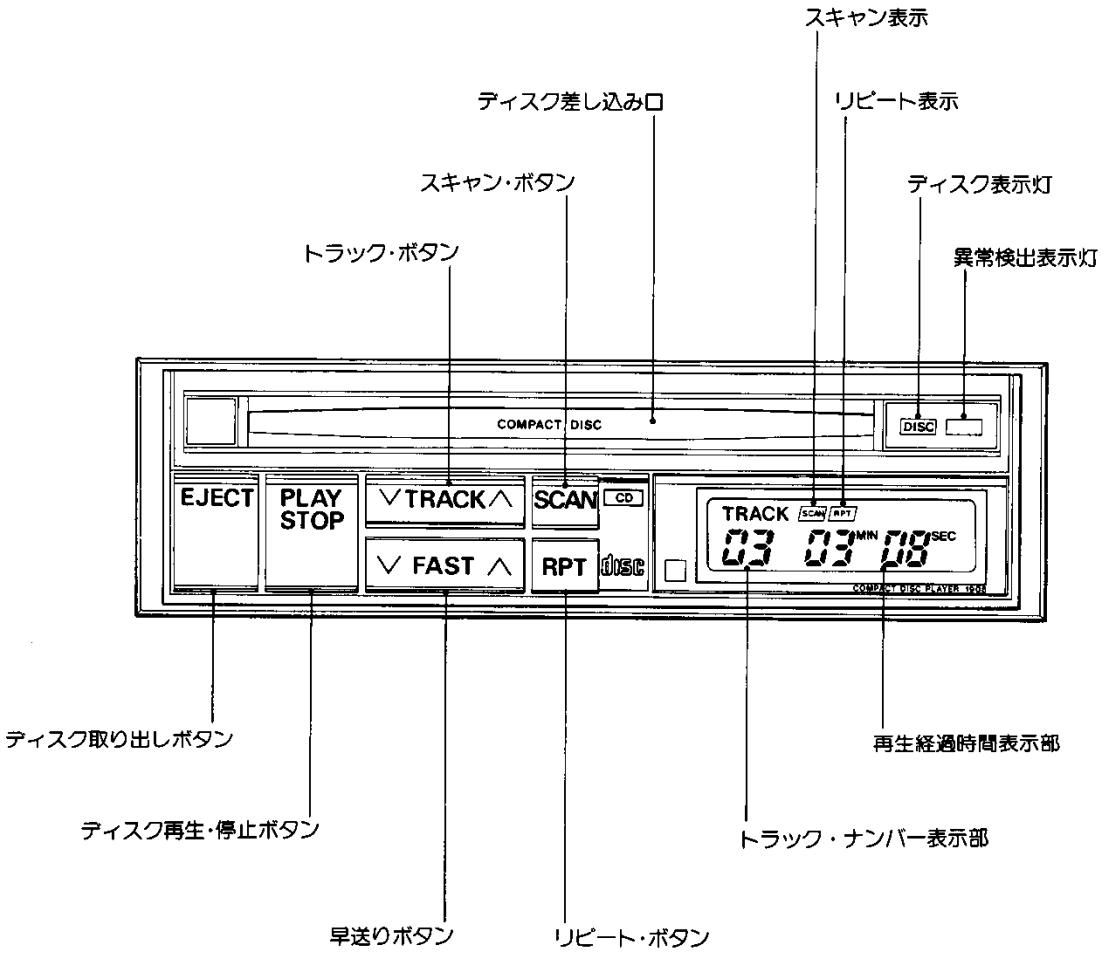


1. 曲と曲の間に雑音があるテープや曲の初めと終わりが明確でないテープは正常に作動しないことがあります。
2. テープが終端にくると自動的に反対側になり1曲目の初めから演奏を始めます。

無断複製禁止

CDプレーヤー

▶各部の名称



注意！

プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が停止します。
この場合次の処置をしてください。

- 異常検出表示灯が点灯している場合は、ディスク再生・停止ボタンを押してください。
- 異常検出表示灯が点灯していない場合は、一度エンジン・スイッチをＬＯＣＫにし、再度ＡＣＣまたはＯＮにしてから、ディスク取り出しボタンを押してディスクを取り出し再度差し込みます。

以上の操作をしても、機能が停止しているときはトヨタ販売店にご連絡ください。

このシステムを十分活用していただくため下記手順でまとめてあります。

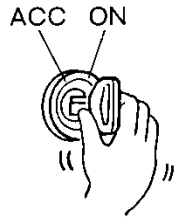
▶ディスクを聞くには……14
▶早送りするには……15
▶ディスクを取り出すには……16
▶自動選曲のしかた(頭出し)……16
▶ディスクにどんな曲がはいっているのか知りたいときは……17
▶同じ曲を繰り返して聞きたいときは……17

無断複製禁止

CDプレーヤー

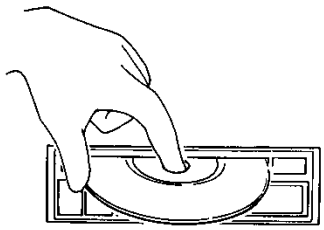
ディスクを聞くには

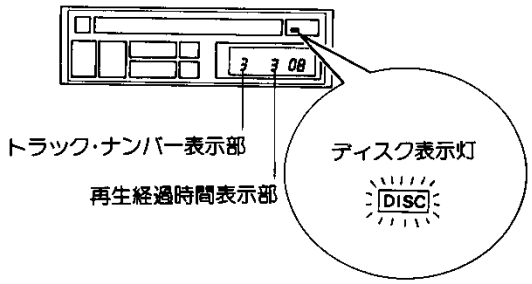
1 エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。



ラジオ電源スイッチのON、OFFに関係なく使用できます。

2 ディスク中心の穴と端をはさんで持ち、ラベル面を上にしてディスク差し込み口に差し込むと自動的に収納され、ディスク表示灯が点灯し最初の曲から再生を始めます。





※トラック・ナンバー表示部でディスクの何番目の曲を聞いているのかを、再生経過時間表示部で再生を始めてからの時間を知ることができます。


ちょっと一言

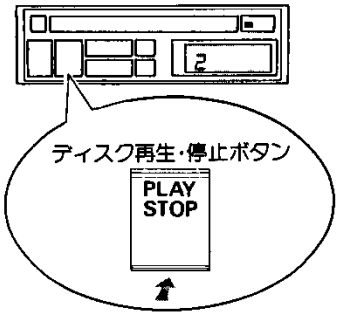
1. ラジオ放送を聞いているときにディスクを差し込むと、ラジオ放送は中断されます。
2. カセット・テープを聞いているときにディスクを差し込むと、テープは自動的に手前に押し出されます。
3. ディスク再生中にカセット・テープを差し込むと、ディスク再生は停止し、テープが再生されます。
4. ディスク再生中にラジオについている交通情報ボタンを押してONにすると、ディスク再生は停止します。ディスクを再生したいときは、もう一度ディスク再生・停止ボタンを押してください。
5. 最後の曲の再生が終わると自動的にトラック1（ディスクの最初の曲）にもどり、繰り返し再生を行います。


注意！

必ず、ディスクのラベル面を上にして差し込んでください。ラベル面を下にして差し込むと自動的に手前に押し出されたり、作動停止状態になる場合があります。

3 音量調整は2ページの**〈音量調整のしかた〉**を音質調整は3ページの**〈音質調整のしかた〉**を参照してください。

4 ディスク再生中に、ディスク再生・停止ボタンを押すと一時停止状態になり、もう一度押すと停止させた位置から再生を始めます。



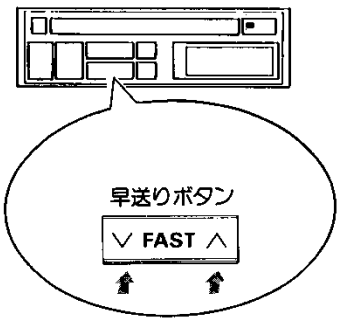

ちょっと一言

ディスクの再生を一時停止させたときに、ラジオの電源スイッチがONになっていればラジオ放送に切り替わります。

無断複製禁止

早送りをするには

1 早送りボタンの∧側を押すと今お聞きになっている曲からうしろの曲へ、∨側を押すと前の曲へ早送りします。



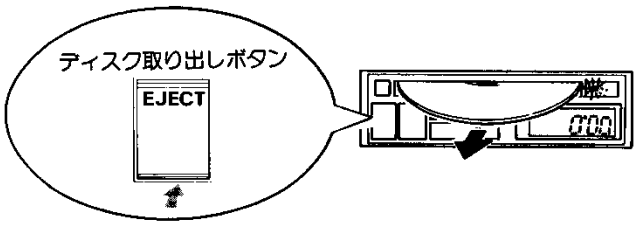
2 早送りボタンから手を離すと、その位置から再生を始めます。

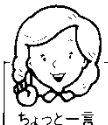


∧側を押し続けたときは、最後の曲になると次は最初の曲にもどります。
∨側を押し続けたときは、最初の曲になると停止し、手を離すと再生します。

ディスクを取り出すには

ディスク取り出しボタンを押すと、ディスクは自動的に手前に押し出されます。





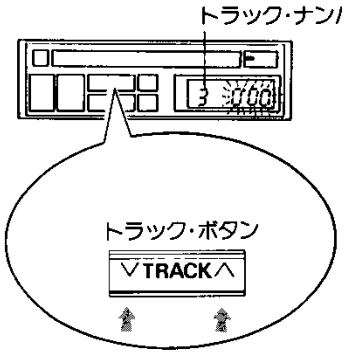
取り出したディスクは、ディスクを保護するためプレーヤーから取り出し、ケースにいれて保管してください。

無断複製禁止

自動選曲のしかた(頭出し)

お聞きになりたい曲の頭出しができます。

1 希望曲が今お聞きになっている曲よりうしろにあるときはトラック・ボタンの∧側を、前にあるときは∨側を押します。





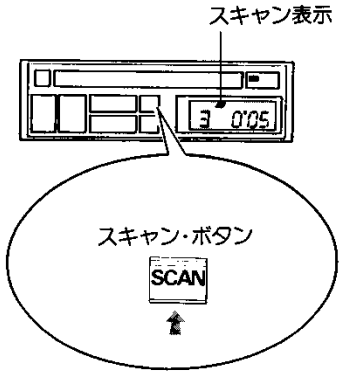
1. ∧側を1回押すと次の曲の頭から再生を始め、∨側を1回押すと今お聞きになっている曲の最初にもどり再生を始めます。
2. ∧側を押し続けたときは、最後の曲になると次は最初の曲にもどります。∨側を押し続けたときは、最初の曲になると次は最後の曲へと移ります。

2 トラック・ナンバー表示部が希望曲のトラック・ナンバーになったときにトラック・ボタンから手を離すと、希望曲の最初の部分から再生を始めます。

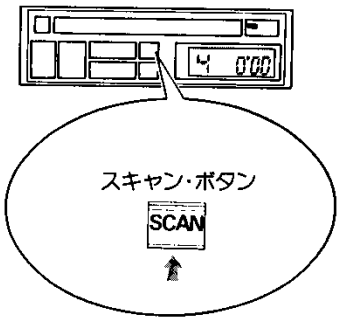
無断複製禁止

ディスクにどんな曲がはいっているのか知りたいときは

1 スキャン・ボタンを押すとスキャン表示が点灯し、曲の始めの部分（約10秒間）だけをつぎつぎに再生します。



2 スキャン作動で曲の始めの部分を再生しているときに、もう一度スキャン・ボタンを押すとスキャン表示が消灯し、スキャン作動が解除され、その曲の再生を始めます。



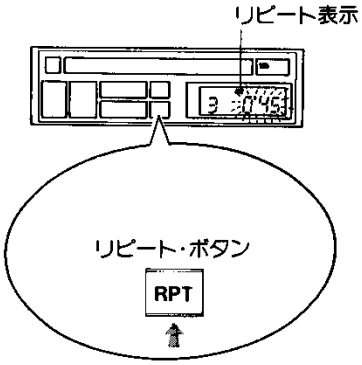


1. スキャン作動は、今お聞きになっている曲の次の曲から開始し、全曲終了すると自動的に解除され、通常の再生になります。
2. スキャン作動中に他のボタンを操作するとスキャン作動は解除され、操作したボタンの作動になります。

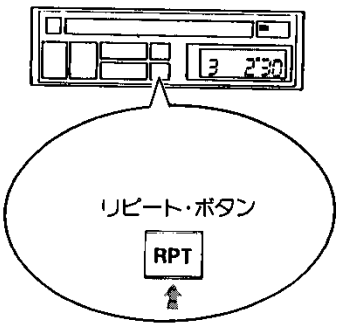
同じ曲を繰り返して聞きたいときは

リピート・ボタンを押すと同じ曲を何度も繰り返して聞くことができます。

1 お気にいりの曲が再生されているときに、リピート・ボタンを押すとリピート表示が点灯し、その曲を繰り返し再生します。



2 リピート作動を解除したいときは、もう一度リピート・ボタンを押します。





リピート作動中に他のボタンを操作するとリピート作動は解除され、操作したボタンの作動になります。

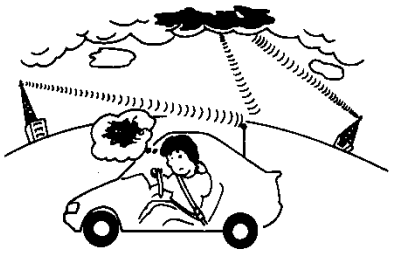
無断複製禁止

カー・オーディオの上手な使い方

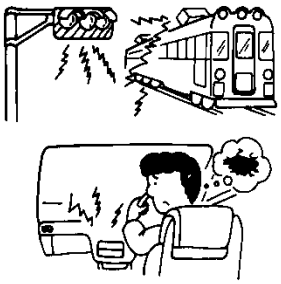
カー・ラジオの受信は、アンテナの位置が刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例をAM、FM放送別に以下に説明します。

AM放送

1 電波の特性上、放送電波が上空(電離層)で反射し干渉することがあります。このため受信状態が不安定になり雑音がはいったり、混信する場合があります。

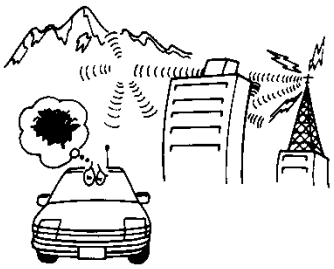


2 電車や信号機の近くを走行すると雑音がはいる場合があります。



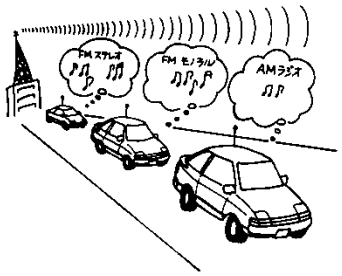
FM放送

電波の特性上、建物や山などが障害物となり、受信状態が悪くなって雑音がはいりやすくなります。



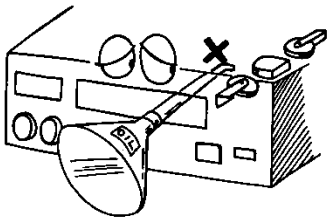
良好な受信ができる範囲

放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。



カセット・ステレオを長持ちさせるには

注油していませんか?

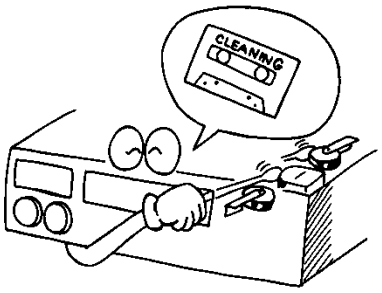


カセット・ステレオには油類を絶対に注油しないでください。故障の原因となります。

いれていませんか?

カセット・テープ差し込み口には、ドライバーなどの金属や磁石などを絶対にいれないでください。

よごれていませんか?

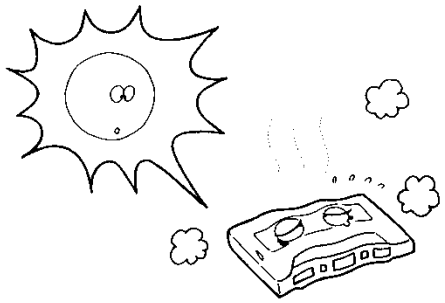


ヘッド周辺部（ヘッド、キャプスタン、ピンチローラー）はよごれやすいので1カ月に1回程度は市販のクリーニング・テープなどでクリーニングしてください。

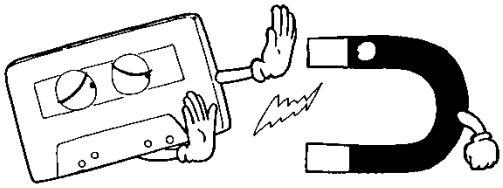
無断複製禁止

カセット・テープを長持ちさせるには

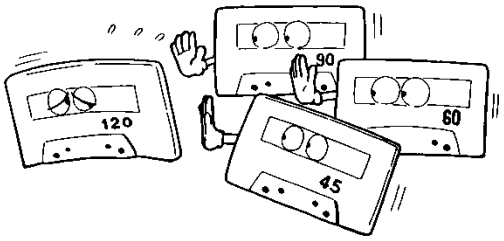
置いていませんか?



カセット・テープを直射日当の当たるところ、またはほこりのつきやすいところに置かないでください。必ずケースにいれてこれらの場所をさけて保存してください。
カセット・テープを磁気のあるものの近くに置くと音質が悪くなります。

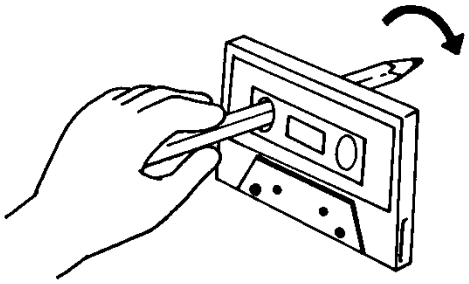


使っていませんか?



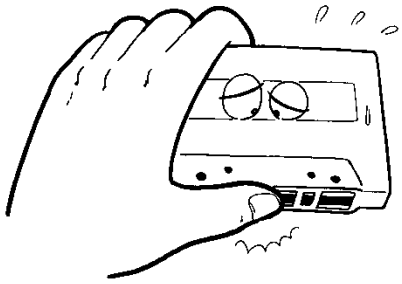
120分テープは、60分、90分テープに比べてテープが非常に薄いため夏期の車室内等の熱によりテープが伸びて、演奏時、音がひずむ場合がありますので使用をさけてください。また、60分、90分テープでも粗悪品を使用すると同じ現象があらわれます。

テープがたるんでいませんか?



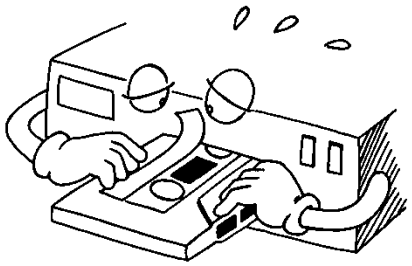
テープにたるみがあると音がひずむ場合がありますので鉛筆などで軽くたるみを取ってからご使用ください。

指が触れていませんか?



テープ面に直接触れると、テープがよごれ音が悪くなる場合がありますので必ずケースを持ってください。

はがれていませんか?



カセット・テープのラベルがはがれかけていたり、ネーム・テープの貼ってあるカセット・テープを使用すると、回転不良やカセット・テープを取り出せなくなる場合がありますので注意してください。

無断複製禁止

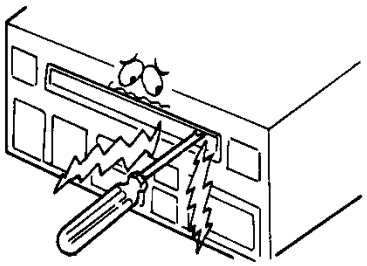
CDプレーヤーの上手な使い方

――CDプレーヤーを長持ちさせるには――

確認しましたか?

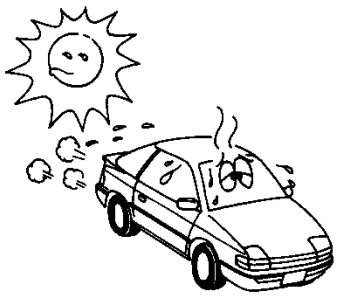
このプレーヤーは、上のマークの付いたコンパクト・ディスク以外は使用できません。

いれていませんか?



ディスク差し込み口には、ディスク以外のものをいれたり、ドライバーなどの金属や磁石などを絶対にいれないでください。

結露現象について



寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、プレーマー内部にも露（水滴）を生ずることがあります。この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。

激しい振動をあたえないで!



悪路を走行中、激しく振動した場合、音とびをすることがあります。
このようなときは、路面のよい道路に出てからご使用ください。

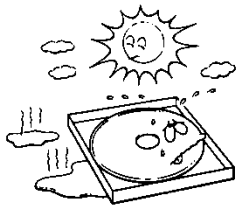
無断複製禁止

コンパクト・ディスクの上手な使い方

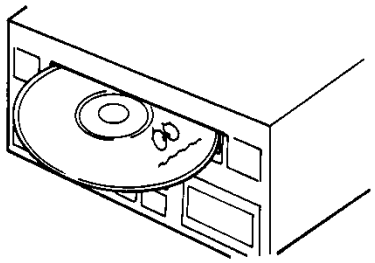
コンパクト・ディスクはいままでのレコード盤とちがい、ディスクに記録された信号をレーザー光線で読み取るため、針との接触で摩耗することはありません。しかし、表面やラベル面にキズがついたり、大きくそったディスクは音質の低下や音とびの原因になりますので取り扱いには十分注意してください。

――コンパクト・ディスクを長持ちさせるには――

置いていませんか?

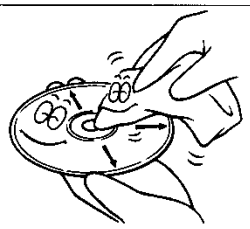


コンパクト・ディスクは必ずケースにいれて直射日当の当たる場所や高温、多湿の場所をさけて保存してください。



コンパクト・ディスクをイジェクト状態のまま長時間放置しないでください。そりの原因になります。

よごれをとるときは?

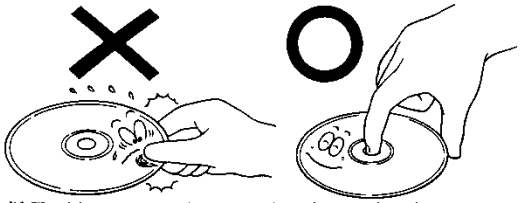


やわらかい布でディスクの内側中心から外側へ直角方向に軽くふきとってください。



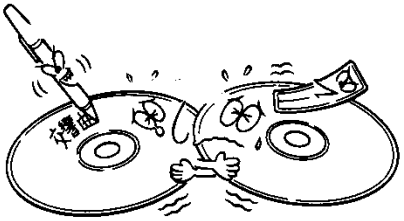
ベンジン・シンナー、レコード・スプレー、帯電防止剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。

取り扱いはていねいに!



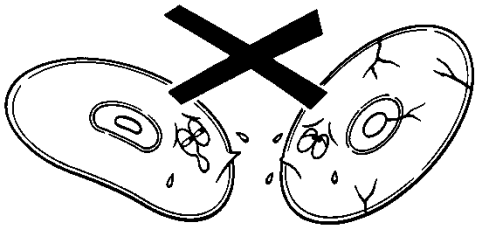
信号面(ラベルが貼っていない側)に直接触れるとディスクがよごれ、音が悪くなる場合がありますので必ずディスクの中心の穴と端をはさんで持ってください。

書いたり、貼ったりしないで!



ラベル面にボールペンやサインペンなどで文字を書いたり、紙やシールを貼りつけないでください。

使わないで!



ディスクはプレーヤー内部で高速回転しますので、ヒビがはいったり、大きくそったディスクは使用しないでください。プレーヤーの故障の原因になります。

無断複製禁止